

令和5年度 環境関連施策について

環境部環境政策課

目次

リーディングプロジェクト関係分

- 1 未来のために今変える ライフスタイル転換プロジェクト 1
- 2 未来のために今挑む 脱炭素推進プロジェクト 5
- 3 未来のために今学ぶ 環境学び創造プロジェクト 8

リーディングプロジェクト関係分

1 未来のために今変える ライフスタイル転換プロジェクト

地球温暖化対策をはじめ、自然敬愛都市や循環型社会の実現を進めていくためには、市民の一人ひとりが環境問題を我が事として捉え、考え行動に移すことが重要となります。

そのため、市民の自発的な行動を促進するための支援を行い、市民の誰もが、日頃から環境に配慮した「賢い選択」や「無駄なものを発生させない行動」等を率先して行うライフスタイルへの転換を促進していきます。

●エコスタイルガイドブック作成事業【新規】 予算額 なし

市民の環境に配慮した行動を支援するため、国の示す「ゼロカーボンアクション 30」等を参考にした行動例や環境ラベルの種別などの情報を掲載した「エコスタイルガイドブック」を光市地球温暖化対策地域協議会と協働で作成し、ライフスタイル転換を促すツールとして活用します。



令和4年3月2日更新



ひとりひとりができること
**ゼロカーボン
アクション30**

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。
「ゼロカーボンアクション30」にできるところから取り組んでみましょう！

<div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; border: 1px solid #c8e6c9;"> <p>エネルギーを 節約・転換しよう！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 再エネ電気への切り替え 2 クールビズ・ウォームビズ 3 節電 4 節水 5 省エネ家電の導入 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取ろう 7 消費エネルギーの見える化 </div>	<div style="background-color: #ffe0b2; padding: 5px; border: 1px solid #ffcdd2;"> <p>太陽光パネル付き・ 省エネ住宅に住もう！</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 太陽光パネルの設置 9 ZEH（ゼッチ） 10 省エネリフォーム 窓や壁等の断熱リフォーム 11 蓄電池（車載の蓄電池） ・省エネ給湯器の導入・設置 12 暮らしに木を取り入れる 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択 14 働き方の工夫 </div>	<div style="background-color: #fff9c4; padding: 5px; border: 1px solid #fff176;"> <p>CO2の少ない 交通手段を選ぼう！</p> <ol style="list-style-type: none"> 15 スマートムーブ 16 ゼロカーボン・ドライブ </div>	<div style="background-color: #ffe0e0; padding: 5px; border: 1px solid #ffcdd2;"> <p>食ロスをなくそう！</p> <ol style="list-style-type: none"> 17 食事を食べ残さない 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫 19 旬の食材、地元の食材でつくった葉食を取り入れた健康な食生活 20 自宅でコンポスト </div>
<div style="background-color: #ffe0b2; padding: 5px; border: 1px solid #ffcdd2;"> <p>環境保全活動に 積極的に参加しよう！</p> <ol style="list-style-type: none"> 30 植林やゴミ拾い等の活動 </div>	<div style="background-color: #e0b0ff; padding: 5px; border: 1px solid #d1c4e9;"> <p>CO2の少ない製品・ サービス等を選ぼう！</p> <ol style="list-style-type: none"> 28 脱炭素型の製品・サービスの選択 29 個人のESG投資 </div>	<div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; border: 1px solid #c8e6c9;"> <p>3R（リデュース、 リユース、リサイクル）</p> <ol style="list-style-type: none"> 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う 25 修理や修繕をする 26 フリマ・シェアリング 27 ゴミの分別処理 </div>	<div style="background-color: #e0e0ff; padding: 5px; border: 1px solid #c8c8e6;"> <p>サステナブルな ファッションを！</p> <ol style="list-style-type: none"> 21 今持っている服を長く大切に着る 22 長く着られる服をじっくり選ぶ 23 環境に配慮した服を選ぶ </div>

●市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン【継続】 予算額 なし

毎月月末金曜日にバス運賃を半額にするキャンペーンを実施し、移動にかかる脱炭素化と公共交通の利用促進を図ります。

〈キャンペーン概要〉

対象者：市内事業所等（企業・団体等）に通勤しているマイカー利用者及び希望者

実施日：毎月月末金曜日（5月～）

内 容：実施日に市が指定する参加登録証を提示すると、対象となる路線が通常運賃の半額で利用可能

実施方法：①事前に環境政策課へ参加登録を行う。

②登録後、参加登録証を配布する。

③対象バスから降車する際に参加登録証を提示し、半額分の運賃を運賃箱に投入する。

④実施後、環境政策課に実績報告書を提出する。

●省エネ活動推進キャンペーン【継続】 予算額 なし

家庭において、対前年同期での電気使用量の削減と各種エコ活動に取り組むキャンペーンを実施し、日頃からの省エネ行動やエコ活動の定着を図ります。

〈キャンペーン概要〉

対 象：光市内の世帯（事前エントリー）

取組期間：〈夏季〉7月の1か月間 〈冬季〉12月の1か月間

取組内容：①省エネ活動

前年同期と比較して電気使用量の削減に取り組む

②エコ活動

エコドライブ、雑紙回収、宅配物を1回で受け取る、ウォームシェアなどの項目から3項目以上の活動に取り組む

参加特典：成績上位30世帯に地域活性化包括連携協定を締結している株式会社丸久の協力のもと合計4万8千円分の商品券を贈呈

※商品券の購入にかかる費用等は地球温暖化対策地域協議会の予算で対応

●ライトダウンキャンペーン【継続】 予算額 なし

山口県では「ぶちエコやまぐち～CO₂削減県民運動～」の一環としてライトダウンキャンペーンを実施しています。この取組に合わせ、ライトダウン（消灯）を呼びかけ、家庭や企業での日常的な省エネ活動につなげます。

〈キャンペーン概要〉

対 象：市民及び市内事業所

取組期間：12月の1か月間 20時～22時

取組内容：①家庭での取組例

電気やテレビを消して、ろうそくやランタンの明かりの中、家族で会話を楽しむ

②事業所での取組例

夜間の野外照明施設の消灯や室内の不要な電気の消灯

従業員に対して、職場や家庭での不要な電気の消灯の呼びかけ

周 知：市民が日常的に足を運ぶ店舗（市内大型小売店等）に取組実施の協力を呼びかけ、ポスターの設置を依頼するなど、幅広く市民への周知を行う

【R4 依頼先】

- ・マルキュウ（浅江店、岩田店） ・アルク（光店、光井店）
- ・イオン光店 ・マックスバリュ（浅江店、室積店）
- ・ダイレックス（光店、光井店） ・エディオン光店 ・松原屋

●家庭用生ごみ処理機等購入費補助金【継続】 予算額 263千円

家庭から排出される生ごみの減量化及び再資源化を推進するため、家庭用生ごみ処理機等の購入費を支援します。

〈対象となる機器〉

対象機器	補助額（円）	要 件
電動生ごみ処理機	1/2（上限：20,000）	市内に住所を有し、市内の販売店で購入したもの 対象基数は、1年度で1基まで、但し段ボールコンポストは4基まで
コンポスト容器	1/2（上限：2,000）	
段ボールコンポスト	1/2（上限：1,000）	

※算出した補助金の額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

●資源回収奨励金【継続】 予算額 1,405 千円

家庭から排出される再生可能な資源を回収する、自治会や子ども会、PTAなどの市民団体に対し、引き続き支援し、ごみの減量、生活環境の保全及び資源の有効利用を図ります。

〈団体への奨励金〉

奨励金	2円/kg（雑がみ類は5円/kg）
対象品目	紙類（新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック）、雑がみ類、布類、金属類、ビン類

●食品ロスの削減【継続】 予算額 なし

まだ食べられるのに捨てられている食品を集めて、必要としている施設や人へ届けるフードバンク活動の取組みについて周知啓発し、食品ロスの削減を図ります。

〈フードバンクポスト設置場所〉

- ・アルク光店
- ・アルク光井店
- ・ここと島田店
- ・里の厨
- ・マックスバリュ浅江店
- ・マックスバリュ室積店
- ・マルキュウ浅江店
- ・マルキュウ岩田店
- ・みちがみ病院

2 未来のために今挑む 脱炭素推進プロジェクト

再生可能エネルギーや環境に配慮した製品等の導入促進を図り、全市を挙げて温室効果ガス排出削減の取組を進めるとともに、森林の保全や木材の活用など、二酸化炭素の吸収源対策を推進します。

また、地域の一事業所として、市が率先して脱炭素化に取り組むことで、市域全体の温室効果ガス排出削減に寄与していきます。

●エコスタイルサポート補助金【新規】 予算額 5,000 千円

国が導入を支援、または呼びかけているCO₂削減効果の高い設備等の家庭への導入を支援し、家庭の脱炭素化を促進します。

〈対象となる省エネ設備〉

対象設備	補助額 (円)	要件
ZEH (ネット・ゼロ・エネルギーハウス)	100,000	国の補助金の交付を受けた戸建住宅
高断熱リフォームに資する ①断熱材・外壁 ②複層ガラス・二重サッシ ③玄関の扉	断熱材・外壁：50,000 複層ガラス・二重サッシ：50,000 玄関の扉：50,000 (工事費 100,000 円以上)	既存家屋 重複申請も可
LED照明設備	LED：10,000/基 (設備購入費用の2/3、最大5基50,000) ※2回目以降の補助額は、1回目の補助額との合計で50,000まで	既存家屋 市内業者限定
宅配BOX	固定型：20,000 簡易型：5,000 (対象経費の1/2)	新築・既存・賃貸 すべて可

●省エネ家電買替応援キャンペーン 予算額 5,000 千円

家庭の脱炭素化を推進するとともに、物価・エネルギー価格の高騰を踏まえ、家庭における電力使用量の多いエアコン・冷蔵庫の省エネ性能が高い製品への買い替えを支援します。※単年度事業

〈対象となる省エネ設備〉

対象設備	補助率及び補助上限額（円）	要件
エアコン	対象設備購入額（設置工事費除く）の 1/4 上限 50,000/世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・統一省エネルギーラベルが4つ星以上の製品に買い替え ・市内業者限定
冷蔵庫		



●公用車への電気自動車導入事業【新規】 予算額 2,807 千円

電気自動車を公用車に導入することで、CO2等を排出しないクリーンなエネルギーへの転換を図り、CO2排出削減を推進します。また、導入後は、環境学習への活用も検討します。

●電気自動車普及促進事業【継続】 予算額 970 千円

地球温暖化防止に寄与する電気自動車の普及や中山間地域の活性化を目的に、平成26年9月から光市農業振興拠点施設「里の厨」に設置した電気自動車用急速充電器について、引き続き運用を行います。

●地球温暖化対策地域協議会交付金【継続】

予算額 100 千円

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき設置された、市民・事業者・市が協働で地域の地球温暖化対策に取り組む「光市地球温暖化対策地域協議会（愛称：ひかりエコシティ・ネットワーク）」の運営を支援し、市民の環境意識の向上と地域の温室効果ガスの削減を目指します。

〈R5年度重点事業〉

会員企業を含めた情報交換の場を設定し、地球温暖化対策の取組などの協議を行い、新たな取組へつなげる。また、こうした取組を契機として会員の地球温暖化対策のさらなる推進と新たな会員加入につなげる。

〈その他事業〉

- ・ライトダウンキャンペーン（市との協働事業）
- ・エコスタイルセミナー（市との協働事業）
- ・省エネ活動キャンペーン（市との協働事業）
- ・エコスタイルガイドブック作成（市との協働事業）
- ・協議会PR活動（イベント出展など）
- ・その他（緑のカーテン促進事業、地球温暖化出前授業、会報発行等）

3 未来のために今学ば 環境学び創造プロジェクト

次代を担う子どもたちの自然を敬う心を育むとともに、地球温暖化や循環型社会などについて学び、考え、一人ひとりが問題の解決に向け率先して行動していただけるよう、小学生、中学生、高校生に対する環境学習を推進します。

また、新しい生活様式に対応したICT機器等を活用した学習方法等の開発や、世代に応じた自然体験学習や環境学習の場の創出に努めます。

●ひかりエコくらぶ【継続】 予算額 83千円

自然体験学習会を通して、自然とふれあうとともに、その恵みに感謝し、継承していくことの大切さを学習する機会を創出します。令和5年度は、森林ふれあい体験や森林の恵みを使ったクラフト体験を通じて、森林への理解を深めるメニューを創設します。

〈概要〉

- ・対象者：市内小学校に通う1年生～6年生の児童 ※対象学年を拡充
- ・実施回数：3回（夏、秋、冬を予定）
- ・募集人数：各回20人 ※参加者数を拡充

フィールド	講師	内容
周防の森ロッジ	市内講師	・ネイチャーゲーム ・スイートピザ作り
		・森林ふれあい体験 ・森林の恵みを使ったクラフト体験 ・焼き芋作り ※森林環境税等充当対象メニュー
		・河原遊び ・スモア作り

●環境学習推進事業【継続】 予算額 78千円

希望する小学校に対し、下記の4分野に関する専門家を派遣し、自然や環境問題に関する理解を深め、大切にすることを育みます。

〈学習分野〉

- ①鳥類 ②魚類 ③植物 ④地球温暖化防止

●ひかり環境未来塾【継続】 予算額 95千円

市内中学校及び高校を対象に、学校の指導だけでは知り得ない企業の環境に配慮した取組や環境問題の現状などについて、出前授業形式で学習する機会を創出します。

〈学習メニュー及び講師〉

区分	学習メニュー	講師
新規	地球温暖化と私たちの暮らし	大森一世氏（環境カウンセラー）
新規	海洋ごみが私たちに教えてくれること	嶋田陽一氏（水産大学校）
継続	光市の企業の環境に配慮した取組み	武田薬品工業株式会社
継続	水素エネルギー社会の実現	株式会社トクヤマ
継続	電気エネルギーと私たちの暮らし	中国電力株式会社周南営業所
継続	地球温暖化と異常気象のつながり	坂本京子氏（気象予報士）

●エコスタイルセミナー【継続】 予算額 なし

環境問題に関する知識や理解を深める場を提供するため、光市温暖化対策地域協議会と協働で、市民を対象としたセミナーを開催します。

〈テーマ及び講師〉

テーマ（案）	講師
次世代自動車	山口県ひとつづくり財団環境アドバイザー登録者
海洋ごみ問題	